

**特集** 四国とともに成長する、JR四国の宿泊事業  
**NEW** 新コーナー「社員が紹介!JR四国のお仕事」



**ズームアップ** 鉄道沿線の風景

～ゆうゆうアンパンマンカー、京都へ～



京都鉄道博物館

アンパンマン列車ご利用100万人を記念して、6月29日～7月11日の間、京都鉄道博物館で「ゆうゆうアンパンマンカー」が特別展示されました。

京都では普段見ることのできない、アンパンマンとなかまたちが描かれた特別な車両を前に、京都鉄道博物館を訪れたお子様や家族連れの方は、皆様足を止めて笑顔で記念撮影をされていました。

展示中は、靴を脱いで遊べるプレイルームを備えた「ゆうゆうアンパンマンカー」の車内も御覧頂けたほか、「予讃線8000系アンパンマン列車」で使用されているアンパンマンシートに座って記念撮影ができるスペースや、アンパンマン列車の模型の展示スペースも開設。

来館者の皆様にアンパンマン列車の魅力を広く知って頂ける機会となりました。



QRコード  
 JR四国列車運行情報  
<https://www.jr-shikoku.co.jp/info/select/index.html>

列車の発着時刻、運賃・料金、鉄道企画商品に関するお問い合わせ  
**JR四国電話案内センター** ☎0570-00-4592  
(お客様がお使いの電話回線の種類によってはご利用いただけない場合があります。)  
 受付時間(年中無休) 8:00～19:00  
 通話料がかかります。

**e5489**  
 JR西日本ネット予約  
 インターネットで対象エリア内の新幹線・特急列車などの指定席が予約できるサービスです。詳しくは e5489 検索

**I**ンフォメーション  
 nformation

**しまんとロッコ誕生10周年!缶バッジを配布中!**

予土線3兄弟の長男である「しまんとロッコ」は2013年10月にリニューアルして今年で10周年を迎えます!これを記念し、「ありがとう 今年で誕生10周年」と題して、9月30日までに「しまんとロッコ1号・しまんとロッコ2号」をご利用のお客様にオリジナルデザインの缶バッジを配布しています!

この機会に是非しまんとロッコにご乗車いただき、雄大な四万十川の眺めを楽しませてはいかがでしょうか。



- 配布対象 / 「しまんとロッコ1号・しまんとロッコ2号」の指定席券をお持ちのお客様 ※トロッコ乗車区間(江川崎駅～土佐大正駅間)にて車掌からお渡しします。
- 配布期間 / 2023年9月30日(土)まで ※缶バッジは数量限定のため、無くなり次第終了します。
- その他 / 缶バッジの配布は指定席券1枚につき、おひとつとなります。 ・缶バッジの配布終了は、宇和島駅公式Twitterでお知らせします。

**担当者より**

企画担当の三木です。しまんとロッコがリニューアル10周年を迎えるにあたり、ご利用の皆様へ感謝の気持ちを込めて、ひとつずつ手作りしております。ご旅行の思い出のひとつになるように頑張ります!



宇和島駅  
 公式Twitterは  
 こちら



# 四国とともに成長する、JR四国の宿泊事業

JR四国グループの宿泊事業は、1993年の「ホテルクレメント徳島」開業以後、30年の歴史を積み重ねてきました。いつの時代も、お客様に安心して快適に過ごしていただくことを第一に考えるとともに、「四国家」の一員として、その土地ならではの魅力と旅の記憶に残る心を込めたおもてなしを届け、四国とともに成長する宿泊事業を展開しています。

## ニーズに応える多様な宿泊施設

JR四国グループでは、総合型ホテルブランドの「JRホテルクレメント」、宿泊特化型ホテルブランドの「JRクレメントイン」をはじめ、立地やお客様ニーズに応えるホテル9施設、簡易宿所2施設を運営しています。

宿泊事業の中核となるホテル事業は、これまで四国内の県庁所在地を中心に展開してきましたが、2022年には、兵庫県姫路市に四国外で初めて出店。「JRホテルクレメント」「JRクレメントイン」「道後やや」の8ホテルを運営している(株)JR四国ホテルズは、四国の企業としては最大の客室数(約1,450室)を有するホテルチェーンとなりました。

### JRホテルクレメント

様々なタイプの客室、レストラン、宴会場等を備え、宿泊以外のサービスも提供している総合型ホテル

### JRクレメントイン

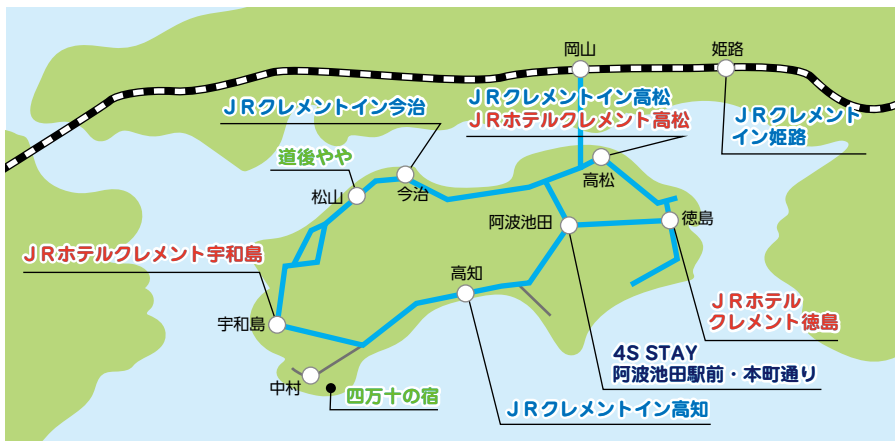
宿泊サービスの提供に特化し、建物デザイン、朝食等で地域の個性を取り入れている宿泊特化型ホテル

### 道後やや、四万十の宿

観光滞在のニーズに応える個性的な客室や宿泊サービスを提供しているホテル

### 4S STAY

街並みの空き家や古民家を改修した小規模な宿(簡易宿所)で、「暮らすように旅する」旅行スタイルを提供



### ▶ JRホテルクレメント



高松



徳島



宇和島



高松



高知

### ▶ 観光地立地ホテル



今治



姫路



道後



四万十



阿波池田

## 「その土地ならではの」でおもてなし

### その土地ならではの<食>を味わう

#### JRクレメントイン高知 「薫焼きカツオのたたき」

カツオの消費量が日本一の高知県。高知で獲れた新鮮な生鰹を、店内で香ばしく仕上げた「薫焼きカツオのたたき」は朝食の一番人気。米は四万十源流の水で育ったヒノヒカリを使用。



#### JRクレメントイン今治 「今治焼豚玉子飯」

ご飯の上に、焼豚、半熟の目玉焼き、タレをかけた、ご当地グルメ・今治焼豚玉子飯を朝食ビュッフェで召し上がれます。パンズに挟めば、オリジナルバーガーにもなります。



#### 道後やや 「愛媛の柑橘類」

柑橘類の生産量が日本一の愛媛県。「みかんジュースがでてくる蛇口」で楽しむウェルカムドリンクや朝食ビュッフェで、季節の柑橘類を味わってください。



フレンチトーストも大人気



## その土地ならではの<景観>を活かす

### JRクレメントイン高松 「瀬戸内海 展望大浴場」

周囲に視界を遮るものが無い立地を活かし、「世界の宝石」瀬戸内海と高松城(玉藻公園)を眺めながら大きな浴槽で、至福のひと時。晴れた日の夕暮れ時や早朝の時間帯がおススメです。



### JRクレメントイン高知 「県産木材でデザイン」

高知県の森林率は84%で日本一。高知市街地のすぐ北側に山並みが見えることを活かし、高知県産木材でホテルの外装をデザインしています。「ウッドデザイン賞2022」を受賞。



### 4S STAY阿波池田本町通り 「古民家リノベーション」

伝統的な装飾「うだつ」が施された家屋が並ぶ阿波池田の町並み。江戸時代の商家の外観は町並みに馴染むよう保存し、内側の客室は快適にリノベーションして宿に衣替えしました。



## ホテルを通じて四国ファンをつくりたい

今後JR四国では、宿泊特化型ホテル「JRクレメントイン」ブランドのホテルを四国内のみならず、四国外でも積極的に展開していきます。四国外で初出店した「JRクレメントイン姫路」では、朝食でうどん、じゃこ天といった四国の特産品を提供し、ラウンジでは観光プロモーションビデオもご覧いただけます。JR四国グループの事業機会の拡大としてだけでなく、ホテルを通じて四国の魅力を伝え、四国を訪れていただくファンを増やす取り組みを進めます。ホテルとしての上質な宿泊サービスでお客様に選ばれ続けることはもちろん、四国とともに成長するホテル事業を展開していきます。

### 【担当者の想い】

もう一度泊まりたいと思っていただくため、お客様の声を励みに、どの宿も進化し続けていきます。観光で、出張で、ぜひご利用ください。

(ホテル開発担当 濱田)



# 社員が紹介!JR四国のお仕事

本コーナーでは、JR四国の様々な部門で働く若手社員の仕事の様子や休日の過ごし方をご紹介します!  
第1回となる今回は、本紙「JR四国ニュース」を作成している「JR四国広報室」についてです。



## Q.1 広報室ってどんなお仕事をしているの? やりがいはどんなところ?

### 報道対応

記念式典や防災訓練などに出向いて、社内報用に写真を撮影したり、報道対応で記者の皆様へ情報を提供しています。専門的な内容が多いため、一般の方にもイメージしやすい言葉を選ぶことや、自分がすぐに分からないことは曖昧な回答をせず、調べてから正確な情報を回答すること等、丁寧に誠実な対応を心がけています。まだまだ未熟ですが、先輩方のように、記者の方をはじめ社員からも信頼してもらえる一人前の広報担当者を目指して、日々の業務に取り組んでいます。



### 社内・社外広報紙の作成

本紙、社外広報紙「JR四国ニュース」の作成を担当していました。レイアウトを考へて各部署へ執筆の依頼をかけ、表紙写真の選定や、特集内容の見出し付け、リード文章の執筆などの編集作業を行います。引継当初は、自分が編集したものが配布されるなんて、と不安でいっぱいでしたが、完成した「JR四国ニュース」を駅で見かけたときは、とても嬉しかったのを覚えています。JR四国の取り組みや最新情報を盛り込んだ「JR四国ニュース」を、より多くのお客様に読んでいただきたいと思います。



今回仕事の様子を  
紹介してくれるのは  
広報室 山岡 社員



## Q.2 仕事の中で苦労したエピソードは?

列車事故や車両不具合などが発生した際は、情報収集をして、ホームページの運行情報を掲載したり、報道向け資料を作成し、問い合わせの対応をするなど、社外の方へ情報発信を行っています。退勤後や待機日に呼び出しがかかった際は、出社して対応に取り掛かります。気が抜けない時間が多い点は大変な部署ですが、ご利用いただいているお客様や報道機関の皆様へ、当社の情報をいち早く、そして正確にお伝えして安心いただけるよう、緊急対応時も頑張っています。



## Q.3 休日のリフレッシュの仕方は?

食べることが大好きなので、おいしいお店があると聞いたら食べに行ったり買いに行ったりしているのですが、蒸し蒸しと暑さを増す日々には足取りが重くなる一方です…。最近、涼しいデパ地下の中を散策し、おいしいなお菓子やおつまみを見つけてお家でゆっくりいただくのがちょっとした楽しみになっています。本格的に暑くなってきたら、かき氷やソフトクリームなど、涼しくなるものを食べに行こうかなとぼんやり考えています。







## 本場徳島の阿波おどり

400年以上の歴史を誇る徳島の阿波おどり。今では、高円寺（東京）や南越谷（埼玉）など全国各地で阿波おどりが開催されていますが、毎年8月12日～15日（11日は前夜祭）に開催される徳島市の阿波おどりは、中でも最大級です。県内外はもちろんのこと海外からも大勢の観光客が訪れ、日本有数の観光イベントとして世界的にも注目されています。

阿波おどり本番は、市内中心部に複数の演舞場が設置されるほか、まちなかでも熱い踊りが繰り広げられます。また、市内のホールで開催される前夜祭や選抜阿波おどりは、室内ステージで有名連が出演し、屋外での阿波おどりは一味違うショーアップされた阿波おどりが堪能できます。

徳島市中心部には、1年を通して阿波おどりを楽しめる「阿波おどり会館」があり、徳島市ではいつでも阿波おどりの魅力に触れることができます。

阿波おどりは古くから「手をあげて、足を運べば阿波おどり」と言われるほど、初めての方にも親しみやすいのが特徴。「よしこの（阿波おどり特有のお囃子）」のリズムを感じ、熱気の渦に飛び込んでみませんか。

## ◆選抜阿波おどり 前夜祭(8月11日)

阿波おどり本番前日の8月11日に、有名連から選抜された踊り子・鳴り物が出演し、磨き抜かれた集団演舞や個々の技を披露する前夜祭が、アステイとくしまで行われます。



## ◆選抜阿波おどり

阿波おどり本番の8月12日～8月15日に、有名連の卓越した演舞が観られる選抜阿波おどりが、あわぎんホールで行われます（1公演6連出演）。



■お問い合わせ先 阿波おどり未来へつなぐ実行委員会事務局  
☎088-678-5181・5182  
■阿波おどり公式サイト <https://www.awaodorumirai.com/>



## ◆阿波おどり本番(8月12日～8月15日)

阿波おどり本番の会場には有料演舞場（2023年は2カ所）に加え、無料演舞場やおどりロード、おどり広場など多種多様な舞台が設けられ、たくさんの踊り子がエネルギーあふれる演舞を披露します。



## ◆阿波おどり会館

徳島市で行われる阿波おどりは4日間のみですが、徳島市の緑のランドマーク「眉山」の麓、JR徳島駅から徒歩10分のところにある「阿波おどり会館」では、阿波おどりの公演が年中楽しめます。昼公演の「おどらなそんそん阿波おどり」では、専属連「阿波の風」の時代の変遷とともに変化してきた踊りをご覧いただけます。また、夜公演の「毎日おどる阿波おどり」では、有名連が毎日交代で出演し、それぞれの連が持つ特色に彩られたステージを堪能していただけます。昼公演・夜公演ともに踊り体験コーナーもあり、阿波おどりの魅力を体感できる施設となっております。



■場所:徳島市新町橋2丁目20  
■料金:昼公演(11:00/14:00/15:00/16:00 各40分)800円(中学生以下400円)  
夜公演(20:00 50分)1,000円(中学生以下500円)  
■開館時間:9:00～21:00  
■お問い合わせ先:阿波おどり会館 ☎088-611-1611



インフォメーション  
Information

## さようならディーゼル機関車「DE10」 ～JR四国の最後の機関車が引退～

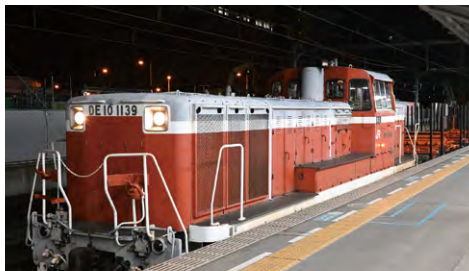
去る2023年3月30日(木)、四国で活躍してきたディーゼル機関車DE10(通称:ディーイトウ)が、最後の運用となるレール輸送列車のけん引を終え、引退しました。

DE10は、国鉄時代に全国に先駆け1967年に松山気動車区(当時、現松山運転所)に導入されました。DE10は動力を伝える車輪が5軸ある珍しい機関車で、車輪1軸あたりの重量が軽いため、当時線路設備が貧弱だった四国の全線に入線でき、小型軽量(約65t)で馬力(1350馬力)もあったことから、最大68両が客車列車や貨物列車、駅構内での入換作業まで幅広く活躍しました。

その後、JR四国になってからは、JR四国オリジナルの豪華欧風客車「アイランドエクスプレス四国」のけん引にあたるなどの活躍もありましたが、客車列車の気動車化や貨物列車の削減などで数を減らし、近年はもっぱらレール輸送などの工事用臨時列車のけん引用として余生を送っていました。

今回、最後に残ったDE10-1139号機の引退により、JR四国所有の機関車の時代は終焉を迎えました。

なお、DE10-1号機は、四国鉄道文化館(愛媛県西条市)に保存されており、今後もその力強い姿を見学することができます。



DE10最後の活躍(レール輸送)



お話し列車を引くDE10



JR四国は国土交通省が主体で全国のJRや私鉄各社が取り組む「鉄道でエコキャンペーン」に参加しています。

発行:四国旅客鉄道株式会社広報室  
〒760-8580 高松市浜ノ町8番33号